



中部メディカル新聞 第 9 号

利用者さま、ご家族さまへ情報をお届けします



第 3 回 地域における多職種連携勉強会のご案内

テーマ 【 誤嚥性肺炎を予防するためにどうすればいいの? 】

要介護高齢者の死因第一位は肺炎です！

誤嚥性肺炎とは、口腔常在菌が飲食物や唾液と一緒に肺に入ることによって起こる肺炎。要介護高齢者の死因のトップは肺炎であり、その多くを誤嚥性肺炎が占めると言われております

【参加費】 無料

【日時】 平成 26 年 3 月 13 日 (木) 13:00~14:30 (12:50 受付開始)

【開催場所】 あいちほっとデイサービス くぬぎ (櫛) 駐車場 20 台
〒465-0097 名古屋市名東区平和が丘 2 丁目 2 3 5

【定員・対象】 20 名

(一般の方、ケアマネジャー、看護師、介護職員、リハビリ関係者など)

【申し込み方法】 お手数ではございますがファックスにてお申し込みの程
よろしくお願い申し上げます

※定員になり次第お申込みを締め切らせて頂きますので、お早めにお申込みください
ますようお願い申し上げます

【申し込み期限】 3 月 5 日 (水)

【講師】 医療法人 優寿会 本山歯科医院 DH 新川 雅子

【研修内容】

- 口腔内と誤嚥性肺炎との関係
- ・なぜ口腔ケアが必要なのか？
- 口腔内ケアの実践
- ・ ブラッシング・舌ブラシ・歯間ブラシ・スポンジブラシ・洗口剤・保湿剤の使い方

【連絡先】

事務局：あいちほっと介護センター24 担当 (梶谷)

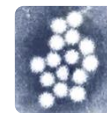
TEL052-792-8216 FAX 052-792-8063

協力：中部メディカル 訪問看護ステーション 担当 (熊澤)

TEL052-792-9802 FAX 052-792-9803



中部メディカルの看護師便り



この冬流行のノロウイルス性胃腸炎とは？

- ノロウイルスが病原体となる急性胃腸炎で、強い感染性を示す
- 感染経路には経口感染および接触感染で、まれに空気感染もある
- 主な原因は、カキや二枚貝などノロウイルスに汚染された食物を生あるいは加熱不十分な状態で食べたり、汚染された食物を調理した器具を介在したりして感染する
- 主な症状は激しい嘔吐や下痢、腹痛などの消化器症状である
- ノロウイルス感染症の潜伏期間は 12~48 時間で、発症後 2~3 日目で快方に向かい、5 日ほどで症状が治まる。症状が消失してからもウイルスは 3~7 日間便中に排泄される
- 感染予防対策

吐物や糞便などの汚物処理は、ただちにビニール袋に入れて密封し、すぐに処理する。手洗いを徹底する。アルコール製剤は効果がありません。石鹼と流水による手洗いが有効です。体調管理を十分に睡眠と栄養をたっぷりとりましょう。詳しくは看護師へ

(河合・管理者看護師)



私の 18 のビリーフ 12 番「身だしなみ」

スタッフは身だしなみに細心の注意を払っています。出退勤時の服装まで気を付けて緊張感を保つのは、事務所のご近所さまへの気遣いだったり、通勤時の事故を防止したりするからです。朝のミーティングでは、髪、爪、ユニホームを確認して一日が始まります。私たちは身だしなみにおいてもプロフェッショナルでありたいと日々努力を積み重ねます

(熊澤真・専務)



中部メディカル 訪問看護ステーションの理念

- こころを大切に (ご本人とご家族のこころを大切にします)
- 連携を大切に (地域のケアチームと親密で良好な関係を築いていきます)
- スピードを大切に (出来る限り早く対応して信頼されるステーションを目指します)



中部メディカル新聞は皆さまの情報をお待ちしております



看護師雑記 みちくさ

頭の体操 パート4
数字をたどってみよう！



- | | | | |
|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ |
| ⑦ | | | ⑭ |
| | ⑥ | ⑤ | |
| ⑧ | | | ⑬ |
| | | | ⑮ |
| | | | ⑯ |
| ⑨ | | | ⑫ |
| | ⑩ | ⑪ | |

答えは A B C どれでしょう？
Aおに Bコップ Cボール

先月号こたえ

①花②里③石④仁⑤名⑥古⑦屋⑧前⑨第⑩始
(加藤・看護師)



スタッフのほっと一息

会社から徒歩5分の『とろろや 小幡店』さんへ行ってきました。限定30食の「欲張りランチ」を目当てに、オープン前から行列ができる人気です。メインのおかずは唐揚げ・茄子と豆腐のだし餡かけ・山芋コロッケから一つを選択し、麦飯、とろろ汁、お刺身、煮物、茶わん蒸し、小鉢、漬物がついて1050円です。麦飯はおかわり自由なので、とろろ汁があれば何杯でも食べられてしまう……。ちなみに私は2杯・・・管理者河合は3杯……。私が訪問した時は、11時のオープンから約20分程度で完売しておりましたので、お時間のある時にぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。そしてお近くにお越しの際は、ぜひ弊社にもお立ち寄りください！

(三宅・看護師)



中部メディカル 訪問看護ステーションでは外部研修会に参加者から伝達報告会や社内勉強会を開催しています。1月に「高次脳機能障害」の社内勉強会を行いました



高次脳機能障害とは？ (Higher Brain Dysfunction)



脳が損傷され、精密な情報処理がうまくいかなることにより、記憶・注意・行動・感情などの機能に障害を残す状態です。具体的には、簡単な作業が覚えられなかったり、集中力に乏しくすぐに注意が他に向いたり、イライラして突然キレたりします。身体の障害と異なり表面的には目立たず、本人も意識しにくいため理解されにくく、診察場面や入院生活より在宅での日常生活、社会生活場面（職業、学校、買い物、交通機関の利用、役所などの手続き）で出現しやすい特徴を持っています。あまり聞きなれない名称ですが、障害に気づかず悩んでいる方が多くあるそうです。

原因は、脳出血、くも膜下出血、脳梗塞などの脳血管障害、または事故により脳が傷ついたり、圧迫されたりする。ヘルペス脳炎、ウイルス脳炎、低酸素脳症など炎症を起こしたり、酸素が不足したりすると発症します。これらの脳の病気や事故にあった患者様すべてがあるわけではありませんが、障害を引き起こす確率が高いといわれています。

この疾患に必要な看護、治療として①深呼吸→脳の酸欠状態を取り除くため②散歩（有酸素運動）③食事（嚥下）脳に酸素を送り姿勢を良くする（全身状態）④出来たことを言うと自分を認める→本人へ目を向ける。言葉で伝える場合は数唱で、大人で7桁。子供では5項目以上にしなない。そして、5～7秒で大切なことを話す必要があります。私たちのステーションは、このような利用者様により良いサービスを提供できるよう努力する所存です

(大野・看護師)



訪問看護、訪問リハビリについてのご質問ご相談のお電話、メールをお待ちしております
勉強会資料希望の方は無料で配布致します。ホームページからもお問い合わせできます



事業所番号 NO.2361390186

中部メディカル 訪問看護ステーション



〒463-0048 名古屋市長南区小幡南三丁目 17-31 B-3

TEL 052-792-9802 FAX 052-792-9803

携帯 080-5298-9513

E-mail chubucare@arion.ocn.ne.jp

HP <http://www.chubu-med.com>

